

経営行動研究学会 会員各位

第 34 回全国大会のご案内（統一テーマおよび趣意書）

2024 年 8 月 29 日(木)、30 日(金)の 2 日間、千葉商科大学（対面）で開催予定の統一テーマ、趣意書について、ご案内します。

記

1. 大会日時 : 2024 年 8 月 29 日(木)、30 日(金)
2. 開催校 : 千葉商科大学（対面）
3. 統一論題 : 「グローバル化とリスク（3）：パーパス経営と経営行動」
サブテーマ ①パーパス経営とは何か？～定義と事例
②パーパス経営が求められる背景・理由
③パーパス経営は、現代社会へ対応が迫られる企業の解決策となるか、その有効性と限界を問う
4. 報告者数 : 6 名（各サブテーマ 2 名×3）

5. 統一論題報告者について

現在、大会WGにおいて選考中です。

統一論題報告に関心をお持ちの方は、お問い合わせ下さい。

特に、若手会員諸氏からの問い合わせをお待ちしています。

問い合わせ先：第 34 回全国大会WG事務局 2

e-mail : dorothea_cecilia@yahoo.co.jp ※

subject を【統一論題 34 お問い合わせ】として下さい。

※ 「自由論題報告公募」申込み先アドレスと異なっております。ご注意ください。

6. 統一論題趣意書

経営行動研究学会第 34 回大会統一論題趣意書 2024.5.21

第 34 回全国大会WG（文責：会長；三戸浩、大会実行委員長；石井泰幸）

1. 2022,23,24 年度の大会統一論題は、「グローバルゼーションとリスク」と決定しており、今年 2024 年度第 34 回大会では、以下の論題が予定されている。

「グローバルゼーションとリスク（3）：パーパス経営と経営行動」

* 第 32・33・34 回全国大会統一テーマ（2022.4.30 常任理事会承認）

第 32 回「グローバルゼーションとリスク（1）：ステークホルダー資本主義と経営行動」

第 33 回「グローバルゼーションとリスク（2）：リスクマネジメントと経営行動」

第 34 回「グローバルゼーションとリスク（3）：パーパス経営と経営行動」

2. 第 34 回統一論題趣意文(案)；

一昨年 2022 年、第 32 回大会のテーマは、「グローバルゼーションとリスク（1）：ステークホルダー資本主義と経営行動」であり、その登場の背景やその意義・有効性が論じられた。続く、第 33 回大会「グローバルゼーションとリスク（2）：リスクマネジメントと経営行動」では、新型コロナ禍やウクライナ侵攻という世界経済に対打撃を与えた出来事から、拡大するグローバル市場における増大・多様化するリスクにどう企業は対応してゆくかが論ぜられた。ともに、急激に変容するグローバル経済・社会における経営行動を問うものであったが、この 2 回の「大きなテーマ」が経済・社会の変容の視点から経営行動がいかなる影響を受けているのか、どう対応すべきなのかを問題としたのに対して、本年度「パーパス経営と経営行動」は企業の観点からこの環境変動に経営行動がどう対応しているのか、どう対応してゆけば良いのかを考えてゆくものである。

会員諸氏から出されたこの「パーパス経営」であるが、その内容・定義は？ 以前からあった「ミッション、ビジョン、バリュー、経営理念、CSR、CSV」などとどう違うのか、は明らかになっているのだろうか。新たに「パーパス」と言わねばならないのか。その始まりにしても、「以前からパーパス経営に取り組む企業は存在していたが、本格的に多くの企業にパーパス経営が広まったのは 2010 年代以降」という説や、「アメリカの大手投資運用会社であるブラックロック社 CEO のラリー・フィンクが 2018 年に“パーパスの重要性”を提唱したところから始まった」などという説もあるようだ。

Amazonで「パーパス経営」と入力すると50点以上の書籍が出てくるほど、注目の概念のようだが、その注目・期待される背景を、グローバリゼーションや資本主義の変容などの観点から検討し、顧客・従業員・金融から支持されるだけの内容を持つものか、社会問題に取り組む経営と言われるが、その問題の解決策となりえるのか。あらためて、社会変容と突き合わせて、社会志向の経営であるミッション、ビジョン、バリュー、MVV、経営理念、CSR、CSVを整理し、次々に現れるこれらの言葉・スタイルの「実質」に迫ってみたい。

サブテーマは、以下の3点である。

【サブテーマ(1)】パーパス経営とは何か?～定義と事例

パーパスは、ミッション、ビジョン、バリュー、MVV、経営理念とどこがどう違うのか?

【サブテーマ(2)】パーパス経営が求められる背景・理由

パーパス経営は、なぜ既存の類似した言葉があるにも関わらず新たに提唱されるのであろうか。既存の類似した言葉も含めて、企業行動に影響を与える社会変動との関連に注目してその背景・理由を探る。

(「揺らぐ」資本主義、新型コロナ禍やウクライナ紛争、米中対立 SDGs や ESG 投資 DX 等などと関係しているのか、しているとしたらどれだけ・どのようにつながっているのか?)

【サブテーマ(3)】パーパス経営は、現代社会へ対応が迫られる企業の解決策となるか、その有効性と限界を問う

「パーパス経営」の内容・実態、背景・理由などを見た上で、あらためて「パーパス経営」が、社会志向の経営行動として決定打となりうるのかを問うてみたい。

【シンポジウム】「"グローバリゼーションとリスク"に対するパーパス経営の意義

本年度も、3つのサブテーマを検討した上で、最後にシンポジウムを開きたい。「グローバリゼーションとリスク」をテーマに開催した3ヶ年度を振り返りながら、報告者のみならず参加者みなさんの考えを確認したい。

※※ 大会開催案内および参加要領は、改めてご案内申し上げます。

以上